

# 令和4年度 学校関係者評価報告書

学) 谷川学園 こみね幼稚園

## 1. 本園の教育目標

つよいからだ  
やさしい心  
豊かな感性

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育方針のもと自己点検、自己評価の内容を深める。子どもの発達を理解し、保育計画を立てるようにする。

また、子ども主体の保育を意識し幼児の話を聞き、思いを受けとめる。保護者との関わりを少しでも増やし、コミュニケーションを取り、信頼関係を築くことを目標とした。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育の計画性	園の教育理念や教育方針を理解し、保育の計画を立てる。幼児の発達に合わせ生活を見通した環境構成を行う。
2	保育の在り方	子ども主体の保育を意識しながら、幼児の話しを丁寧に聞き、幼児の思いを受けとめる。子どもの人権を尊重する
3	保護者への対応	感染対策を工夫しながら、保護者が参加する行事を増やしコミュニケーションを取る。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

コロナウイルス感染症予防により、思うように保育や行事を行うことができないこともあったが、日々の保育を工夫し、人数の制限などを行いながら行事を行うことに努めた。子どもたちの発達を理解しながら、学年で連携を取ることで保育がスムーズに行えるようになり、子どもたちとの関わりを多くできることが再確認できた。今年も、保護者との関わりが減ってしまった1年となったが、行事を少しずつ戻していく中で、保護者を迎えての行事が信頼関係を築ける一つになることも実感した。これからも個々との連絡を密にとっていきたい。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	自己点検・自己評価	自分自身の保育を振り返り、保育者一人一人が保育の質の向上を意識する
2	保育の在り方	子ども主体の保育を柱とし、子どもの人権を常に考えながら関わりを持つ
3	保護者への対応	依頼や伝言の内容によっては教職員全体で検討し、共通理解する

## 6. 学校関係者の評価

コロナ禍が続く中、今まで通りの活動を行うことが難しく大変だと思っておりますが、少しずつでも園行事などができるようになり、子どもたちの成長に大きな変化が起きていると思っております。簡素化するだけでなく工夫して今できる最大の活動、その成果を園行事で見ることができ親子共々、感激しました。

これから、コロナ前の日常に戻ることを、楽しみにしています。

コロナ禍が終息しつつある来年度も円滑に行事が行えるように、チームこみねとして職員一同が一つになって頑張ってください。

委員会実施日

令和5年3月20日

学校関係者評価委員

印

学校関係者評価委員

印

学校関係者評価委員

印

学校関係者評価委員

印